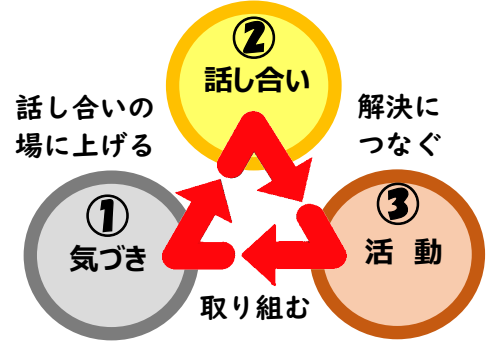


大和郡山市社会福祉協議会では、「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」を目指して、地区社協と協働で、課題解決サイクル「地区社協 大和郡山モデル」の構築に向けて取り組んでいます。

【地区社協 大和郡山モデル】

- ①住民同士がつながりをもち、生活・福祉課題に気づく (発見する)
- ②住民参加による生活・福祉課題を共有、解決する
- ③生活・福祉課題を共有し、新たな活動を生み出す



### <移動支援委員会>

令和2年10~11月に、バス停から距離があると思われる自治会(17団体)に所属する概ね65歳以上の高齢者298名を対象に移動支援に関するアンケート調査を実施しました。



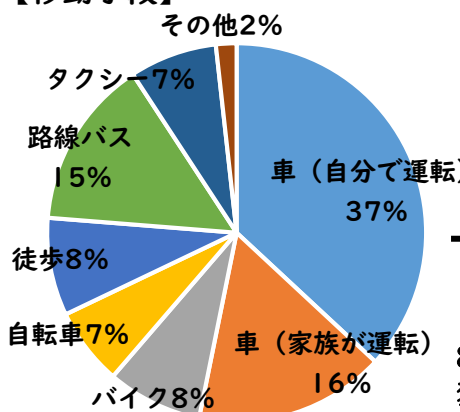
矢田地区は丘陵地帯に位置するため、車(自分で運転・家族が運転)での移動が半数以上を占めていました。80歳を境に車での移動は減少し、路線バスやタクシーの利用が増加していますが、「自宅からバス停までが遠い」「バス停からの帰り道が坂で荷物を持っては大変」という声も多く、自宅近くの集合場所からバス停までの移動支援を行った場合、利用を希望するかの質問に、26%の方が希望するとの回答でした。また、希望しない人の中にも「運転免許返納後は移動支援を利用したい」という声も多くありました。

アンケートを行った自治会のうち、利用を希望する割合が高かった城ヶ丘自治会をモデル地区として、6月運行を目指して現在協議中です。⇒(5/20付で8月以降に延期となりました。)



この移動支援事業は、大和郡山市が車両リース代、ガソリン代、保険代等を負担し、住民の助けあい活動の中で、無料で利用してもらうものです。開始当初は1台での運行であり、運転はボランティアさんが担いますので、なかなか皆さんのニーズ全てに対応することは難しいですが、城ヶ丘の取組みを矢田地区全域に広げていきたいと考えています。

【移動手段】



【移動手段・年齢別】

	自分で車を運転	家族が車を運転	徒歩	路線バス	タクシー
69歳以下	96.6	10.2	3.4	5.1	3.4
70~74歳	68.3	21.7	10.0	20.0	8.3
75~79歳	60.8	24.1	13.9	21.5	7.6
80~84歳	28.1	31.3	18.8	39.1	18.8
85歳以上	12.1	45.5	21.2	27.3	24.2

80歳を境に変化が...

減少

増加

## <なごみの家委員会>

地区懇談会での「みんなが気軽に集まれる場所を作りたい」「子どもから高齢者まで世代を超えて交流できる場がほしい」という意見から、まずは令和元年度に開設された「矢田サロン会館（旧・矢田山保育園跡地）の活性化を目指して取組を進めています。

まずは、地区住民の皆様知ってもらうためパンフレットを作成し、小学校3校を通じて配布しました。コロナ禍で飛躍的に利用が増加したということではありませんが、徐々に利用者や問い合わせが増えています。



コロナウイルス感染症の影響もありますが、今後は、矢田サロン会館に来てもらうきっかけづくりとなるイベントをみんなで考えています。そして、矢田地区内の様々な場所で気軽に集える場所が設置できるよう取り組んでいくことを目指しています。

矢田サロン会館を利用したい、住民向けのイベントを開催したい等のお問合せは、下記までお願いします。<電話> サロン会館：53-5715（日曜日以外の午後1時～5時は係員常駐）  
携帯：090-5046-9540（武智）、090-3615-4429（正木）

## <イベント委員会>

少子高齢化や地域の希薄化が進む中、「住民同士が交流できるイベントが必要」との声が挙がり、長年続いている「ふる里まつり」を充実・活性化させることを目指して、PTAの子育て世代の住民や幼稚園、小・中学校等の先生方にも参加していただき、話し合いを進めています。

本来であれば、令和2年度のふる里まつりで郡山西中学校の生徒にブースを企画してもらう予定となっていたのですが、コロナ禍でまつり自体が中止となってしまいました。ただ、この案を校長先生から提案していただいた際に、「生徒がふる里まつりに参加できることを大変喜んで」という声を聞き、ふる里まつりが子どもから大人まで地域に根付いた祭りであることを再確認できました。



コロナ禍でどこまで実現できるかわかりませんが、郡山西中学校の協力（ブースの企画や各プログラムのお手伝い等）、幼児が遊べる・楽しめる場所の充実、運動会プログラムの見直し等を図っていきたいと考えています。地域になくはない「矢田ふる里まつり」をこれからも住民同士の交流の場として、また若い世代が地域活動に参加するきっかけとして、今後も検討を続けていきたいと考えています。



## 【地区社協ってなに？】

市内には8つの地区社会福祉協議会（略して地区社協）があり、地域住民をはじめ、自治会、民生・児童委員、老人会、PTAなど、各種団体やボランティアらが主体となって、住民一人ひとりの生活・福祉課題を地域の課題として受けとめ、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進する住民組織です。住民相互の支えあい活動を広げるため、講演会や世代間交流事業を開催したり、高齢者の見守り活動や健康づくりなどに取り組んだりしています。

高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民同士のつながりや見守り、支えあいの仕組みが必要となります。

生活支援体制整備事業では、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いの地域づくりを進めます。（大和郡山市受託事業）

【問合せ】大和郡山市社会福祉協議会 福祉課  
大和郡山市植槻町3-8 社会福祉会館内  
電話 53-6531 / FAX 55-0986